

分類	安全	テーマ	応急手当の仕方を学ぶ
目標	応急手当を学び、もしもの時に人を助けられるようにする。		
教材	<p>応急手当の仕方 (テキストは、実践をした後、最後に配って要点を確認するのみ)</p>	その他資料	<p>絵カード (倒れている人 etc)・文字カード・ビニール袋・タオル・ガーゼ、ブルーシート・古いベットカバー・傘・ダンボール・ネクタイ・スカーフ 雑誌・ビニールひも</p>
時間	内容	流れ	語彙・文型
0~0:10	自己紹介	名前・国・住んでいるところ	
0:10~0:30	話題の提示	<p>今日は応急手当の勉強をします。 「応急手当」の文字カード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応急手当ってなんでしょう？ →指を切ったらバンドエイドを貼る、 →火傷したら水で冷やす。 → (傷がひどい場合など) 傷をハンカチなどで押さえる。(それから病院へ) ・ 救急車を呼ぶ時はどうしますか？ ・ 応急手当をしたことがありますか。 <p>倒れている人の絵カード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あっ、人が倒れています。どうしますか？ * 学習者全員に意見を言ってもらい、出た意見をホワイトボードに書く。 ・ 消防本部の方に聞いてみましょう。 	<p>応急手当</p> <p>出血・止血、骨折、火傷、</p> <p>救急車</p>
0:30~1:30	実際に応急手当てをやってみる	<p>(日本人ボランティアの男性に、倒れた人の役をやらせてもらう)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 倒れた人への声かけ、助けの呼び方を全員でやってみる。 * 出血している場合。→「直接圧迫止血法」、それから「止血帯法」をやってみる。 * 骨折している場合→傘・ダンボール 	<p>ショック状態</p> <p>縛って血を止めるやり方 スカーフ・ネクタイなどでもできる。</p> <p>ダンボール・雑誌、新聞紙</p>

		<p>ル・雑誌などで固定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 傷病者の運び方→毛布を使って担架を作り、4～6人で運ぶのをやってみる。 	
1:40～ 1:55	資料の確認	テキストを渡し、大事なところのみを読んで確認。	
1:55～ 2:00	質問 まとめ 終了		